

H.264高画質デジタル録画
デジタルビデオレコーダー
<OS-R365>

取扱説明書





■この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくご使用ください。

■製品保証書と製品説明書は、
共に大切に保管してください。

■製品及び取扱説明書は、機能向上のため
予告なく仕様及びデザインを変更する場合が
ございます。

安全上のご注意（必ずお守り下さい）	P. 1
安全上のご注意（使用・設置のご注意）	P. 2
製品特長と付属品	P. 3
製品仕様	P. 4
前面パネルの説明	P. 5
背面パネルの説明	P. 6
リモコンの説明	P. 7
アラームコネクタの説明	P. 8
接続の仕方（操作前の準備）	P. 9
モニター画面表示について	P. 10
メニューについて	P. 11
カメラ設定	P. 12
システム設定	P. 13
記録の設定	P. 14
アラームの設定	P. 15
USBバックアップの設定	P. 16
ネットワークの設定	P. 17
録画方法	P. 18
再生方法	P. 19
遠隔監視方法	P. 20
録画時間目安表	P. 21
故障かな？と思われたとき	P. 22
アフターサービスと保証	P. 23

安全上のご注意(必ずお守り下さい)

<p>●ご使用の前に必ずこの『安全上のご注意』をお読みのうえ、正しくお使いください。 ●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。</p>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・本体に衝撃を与えないで下さい。本体カバーの割れ、及びケガの原因となります。 ・本体を熱のこもる場所へ設置しない。熱がこもり、火災や本体の変形の原因となります。 ・熱器具の近くへ設置しない。発火、故障の原因となります。 ・直射日光のあたる場所を避けて設置して下さい。 ・水や液体のそばに設置しないで下さい。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ・御使用の前にこの『取扱説明書』をよくお読み頂き、正しいお取扱をして下さい。 ・お読みになった後は大切に保管して下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の分解・改造・修理をしないでください。故障の原因となります。

※万一、注意事項に従わず施工された場合の事故や故障などについては責任を負いかねる場合もございます。

【使用・設置上のご注意】

- 落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。
(故障の原因になります。)
- 定格より寒い場所や暑いところには設置しないでください。
- 直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近くには設置しないでください。
- 強い振動や電気雑音の出やすい所は避けて設置してください。
(映像にノイズの出る恐れがあります。)
- 同軸ケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください。
(ノイズの恐れがあります。)

電波障害についてのご注意

テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなど強い電界磁界の近くでお使いになると、影響を受けてノイズが入ったり、映像が曲がったりすることがあります。このような場合にはカメラケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。

お手入れについてのご注意

キャビネットやパネルの汚れは乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると表面の仕上げを傷めたり、表示が消えたりすることがあります。

【安全上のご注意(警告)】

- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない。
・異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを傷つけない。
・電源コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また電源コードを鋭角に曲げたり、加工したり、ステップルなどで固定しないでください。電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
・電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。(傷んだ部分を持たない!)
- 内部に異物を入れない
・内部に水などの液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を入れないでください。火災、感電の原因となります。
・万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 不安定な場所に置かない。
・落ちたり倒れたりして、けがや、故障の原因となります。
・万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 本機の上に、水の入った容器や小さな金属を置かない!
・こぼれて、本機の内部に入ると、火災や感電につながります。
- 指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使わない!
・電圧値などが異なり、火災や感電につながります。
- 電源プラグが不完全な接続のまま使わない! たこ足配線をしない!
・ショートや発熱により、火災や、感電につながります。
・最後までしっかり正しく接続してください。
- 電源プラグにほこりや金属物を付着させない!
・ほこりや金属物の導電により、火災や感電につながります。
- キャビネットをはずしたり、改造しない!
・内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。内部の点検・調節・修理は、お買い上げ販売店にご依頼ください。

【安全上のご注意(注意)】

- 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところには置かない!
 - ・内部にほこりや水分が入り、火災や感電につながります。
- 本機の通風孔をふさがない!
 - ・次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、絨緞や、布団の上に置く。
- 重いものを置かない!
 - ・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。
- 電源コードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ!
 - ・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電につながります。
- 電源プラグを持つときは、ぬれた手でさわらない!
 - ・水の導電により、感電する恐れがあります。
- お手入れの際、長期間使用しない場合のご注意
 - ・安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

【使用上のお願い】

HDD内蔵機器に対する取扱注意事項

本機はハードディスクドライブ(HDD)を内蔵しています。本機の操作や設置、サービスを行うときは以下の事項に留意し、慎重に取扱ってください。

- 衝撃、振動を与えない
 - ・衝撃、振動が加わるとHDDが故障、あるいはHDD内のデータが破損する恐れがあります。
 - ・通電中は本機の移動は行わないでください。ラックなどからの出し入れも必ず電源をOFFにした状態で行ってください。
 - ・本機を搬送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。また、搬送は振動の少ない方法で行ってください。
 - ・本機を床などに置くときは、底に指定の足がついている状態で静かに降ろしてください。
- 電源OFF後30秒間は動かさない
 - ・電源OFF後もしばらくはHDDのディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は通電中以上に衝撃、振動に弱い状態です。電源OFF後30秒間は軽い衝撃も与えないように注意してください。
- 結露状態で動作させない
 - ・本機に結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。急激な温度変化があった場合には、十分に温度が安定するまで待ってから動作させてください。
- HDDの交換時の注意
 - ・梱包していないHDDは衝撃、振動が加わると故障する恐れがあります。梱包していないHDDはプリント基板面を上にし、水平にしてやわらかいものの上に置くことを推奨します。
 - ・HDDの交換作業でネジの締め付けや取り外す際は、衝撃、振動を与えないように作業してください。ネジの締め付けは緩まないようにしっかりとおこなってください。
 - ・HDDは静電気に弱いので必ず静電対策をおこなって作業をしてください。
 - ・HDDの交換はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- HDD単体の取扱注意
 - ・HDD単体を輸送、保管する場合は必ず指定の梱包材料でおこなってください。
 - ・また、輸送時はHDDにかかる振動の少ない方法でおこなってください。

設置場所の注意

- ハードディスクはほこり、振動、衝撃に弱く、さらに磁気を帯びた物の近い場所での使用を避けてください。記録したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に注意してください。
- ・衝撃を与えないでください。
 - ・振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
 - ・録画や再生中は、コンセントを抜いたりしないでください。
 - ・急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
 - ・温度差の大きいところや湿度の高いところへ移動すると結露を生じることがあります。結露したまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・常に振動を伴う車・列車などには設置しないでください。
 - ・本機には左右面に通気孔がありますので、本機を設置する場合は、塞がないでください。
 - ・本棚や箱の中など通気性が悪くなる環境での使用は避けてください。
 - ・本機は横置き型です。縦置きで使用すると故障の原因となります。
 - ・ラックに設置する場合は、上下5cm以上のスキマをあけてください。

ハードディスクと放熱ファンは消耗品です。

周囲温度25℃の使用条件で、ハードディスクは2年、放熱ファンは2年を目安に交換してください。この年数は、あくまでも交換の目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

大切な記録の場合

- ・必ず事前に録画を行い、正常に再生されることを確認してください。
- ・本機を使用中、本体もしくは接続機器等の不具合によって録画されなかったり、正常に再生できなくなった場合その補償についてはご容赦ください。
- ・万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は、定期的にバックアップをとることをお勧めします。

ハードディスクの保護

ハードディスクに異常が発見されると、エラー動作をおこないます。ハードディスクを初期化するか画像の保管が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

製品特長

- H.264高画質デジタル録画。
カメラ画像をH.264デジタル圧縮し、綺麗なデジタル画像を長時間、保存します。
- 最大で1秒間120コマの完全動画録画記録可能。
- 録画音声(2入力)
- 日時・イベント検索と様々な方法で見たい日時の映像を瞬時に再生可能。
- タイマー録画/動体感知録画機能。
ご希望の時間だけの録画、また本機内にプログラムされている動体検知センサーを用いて画面内に変化があった場合に自動録画開始する機能を搭載。
- 大容量500GBHDD搭載で長時間の録画を実現。
- カメラ4台まで接続、監視・記録が可能。
- ネットワーク対応。
- USBフラッシュメモリーバックアップ機能
USBフラッシュメモリー(別売り)を使用し、録画データの一部をPC上(Win2000/Win XP)でご覧いただけます。
PCで見る場合には取り扱い説明書P.16の手順に従ってご利用ください。

【付属品】

パッケージの中には以下のものが入っておりますのでご確認ください。



DVR本体



マウス



リモコン受光用延長コード



リモコン



電源ケーブル



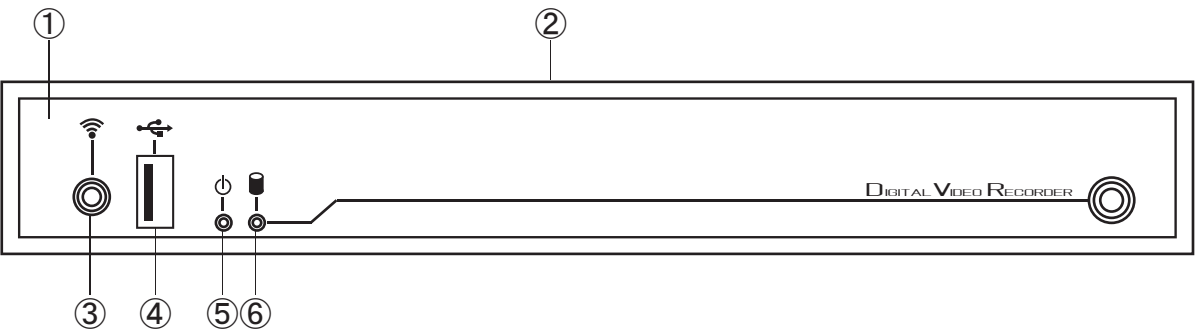
電源アダプター



取扱説明書

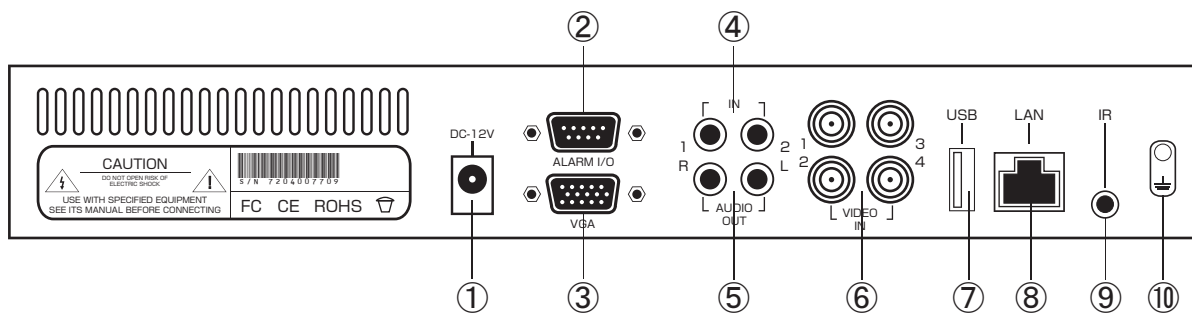
機 能	内 容
操作	OSDメニュー、リモコン
最高解像度/録画解像度	1280(H)×1024(V) / 640(H)×480(V)
記録方式	H.264 圧縮
最大録画速度	120フレーム/秒(640×240)
映像入力(BNC)	4ch
映像出力	VGA出力×1
録画画質設定	5段階（最高、高、標準、低、最低）
内蔵HDD	500GB
映像バックアップ	USBフラッシュメモリー（別売）
録画方法	タイマー録画/動体感知録画/連続録画
各画面切替表示	フル画面, 4分割画面
音声入出力(RCA)	2入力 1出力(L,R)
動作可能周囲温度	5℃ ～ 40℃
外形寸法	約 290 (幅)× 41.8 (高)× 180 (奥) mm
重量	約 1.0 kg
消費電力	最大30W
電源供給	DC12V 2.5A(付属品ACアダプターを使用)

前面パネル



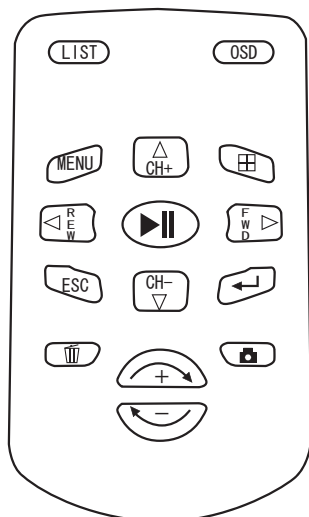
機能		動作概要
①	フロントパネル	表示ランプ、USBポート
②	カバー	HDD保護用
③	IRレシーバー	リモコン受光部
④	USBポート	USBバックアップ用
⑤	電源ランプ	電源の状態表示
⑥	HDDランプ	HDDの状態表示

背面パネル



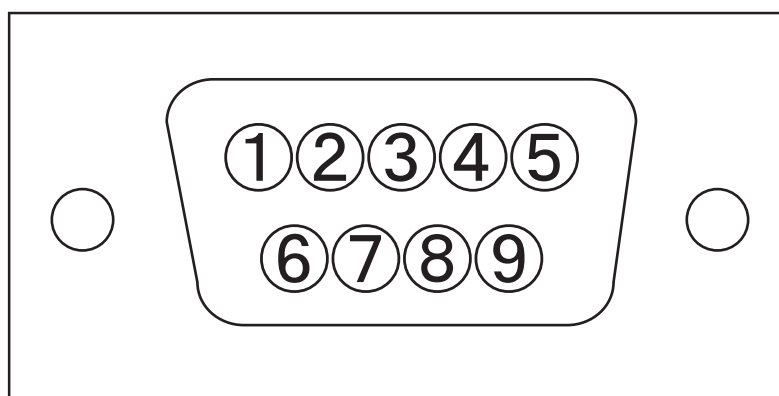
機能		動作概要
①	電源入力	付属のACアダプターを接続します。
②	アラーム端子	D-sub 9ピン コネクタを接続します。
③	VGA出力端子	VGAモニターを接続します。
④	音声入力(RCA)	マイクなどの音声ケーブルを接続します。
⑤	音声出力(RCA)	スピーカーなどの音声出力機器に接続します。
⑥	ビデオ入力(BNC)	カメラ1～4を接続します。
⑦	USBポート	USBマウスを接続します。
⑧	LANポート	RJ-45
⑨	IR接続端子	リモコン受光部延長コードを接続します。
⑩	GND	アース用

リモコン

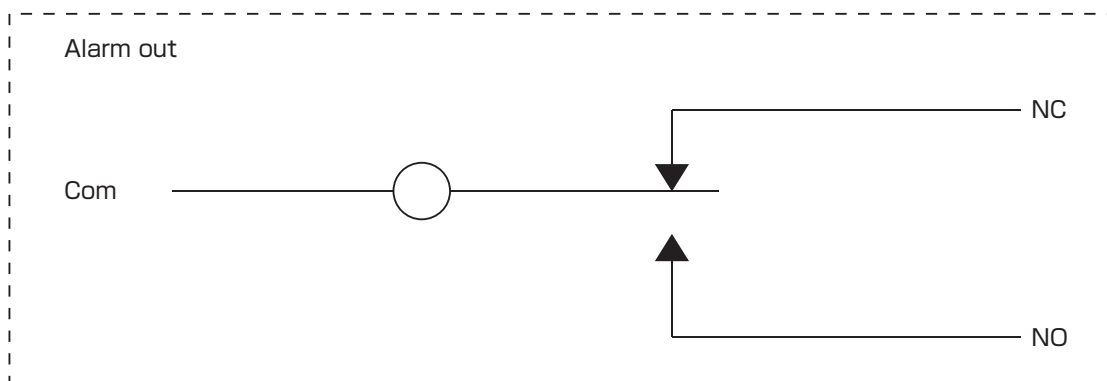
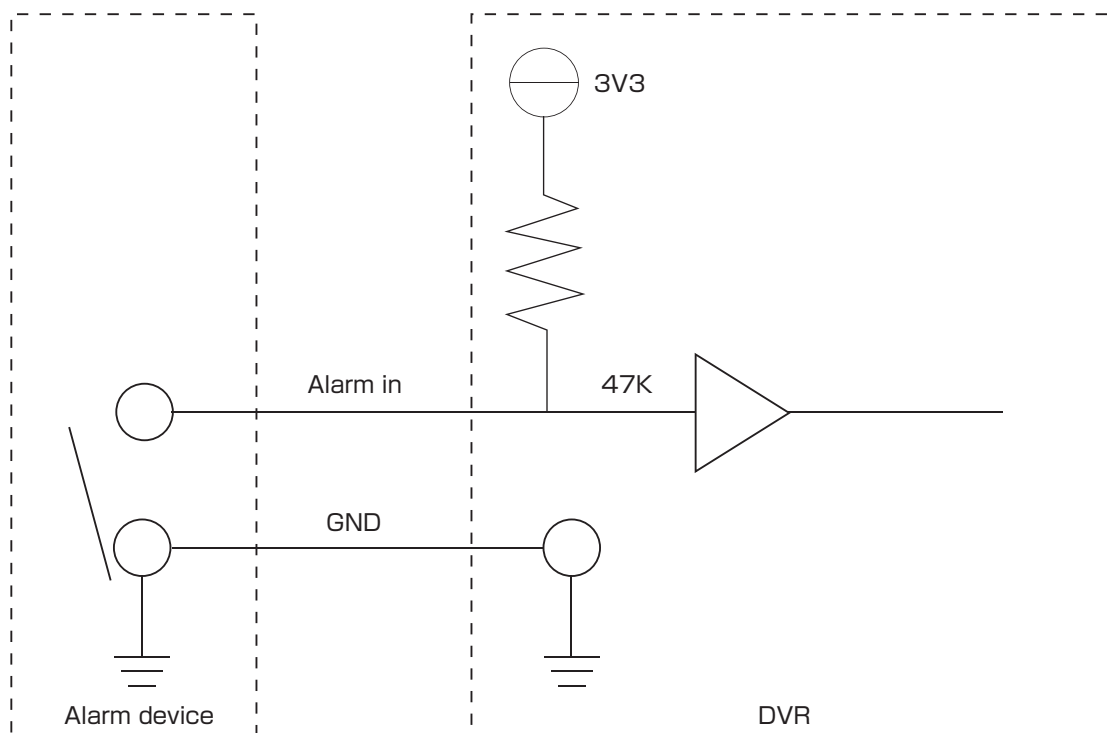


ボタン	動作概要
	メニューを開きます。
	カーソルを上下に移動させます。またはチャンネル変更します。
	1画面表示から4分割画面に切り替えます。
	カーソルを左右に移動させます。再生時、早送り/巻戻しします。
	録画映像を再生・停止します。
	メニュー操作時、一つ前に戻したり、終了させます。
	メニュー操作時の決定ボタンです。
	イベントリストを表示させます。
	OSDメニューの表示、非表示を切り替えます。
	イベントリストから録画ファイルを削除します。
	メニュー設定の項目表示、イベントリストの選択などに使用します。

アラームコネクタ



ピン	定義
①	アラーム入力1
②	アラーム入力2
③	アラーム入力3
④	アラーム入力4
⑤	COM
⑥	NC
⑦	NO
⑧	ケーブル接続不可
⑨	GND



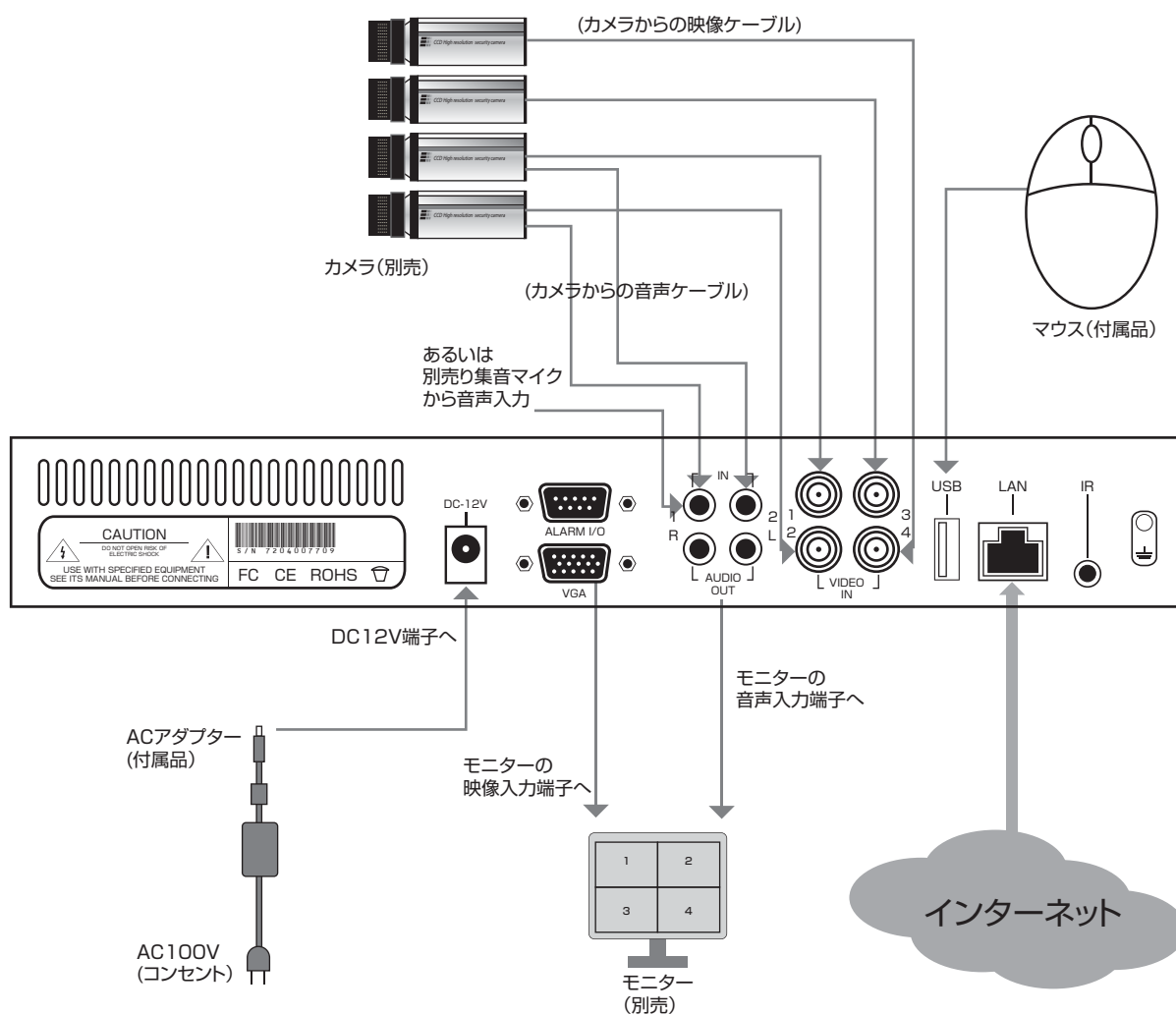
接続の仕方(操作前の準備)

カメラおよび各機器との接続の仕方について説明します。接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

カメラおよび各機器との接続の仕方について説明します。接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

《ご注意》

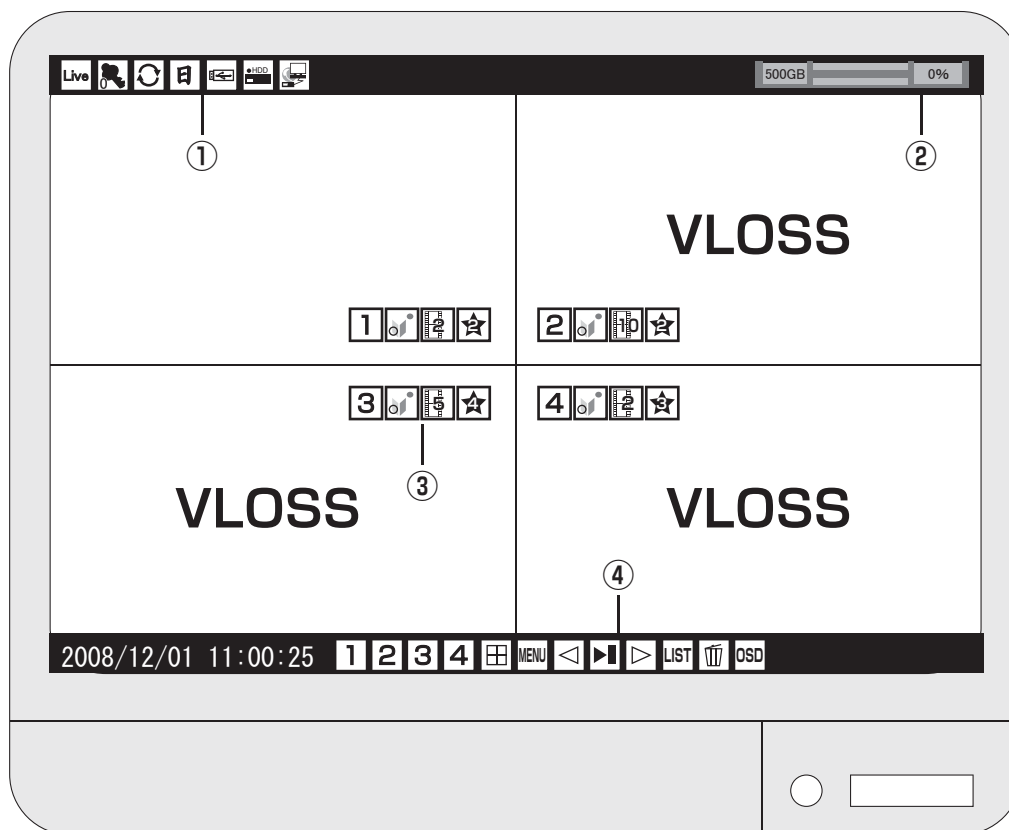
- ・本機の電源をONにする前に、必ず、カメラからの映像線を本体へ接続し、カメラの電源を入れた状態をご確認の上、本機の電源をONにしてください。
- ・本機のカメラ入力端子、USB端子、音声入力端子、およびモニター出力端子には、電圧を加えないでください。接続を誤ると発煙・故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・カメラの電源供給には、別途カメラ電源が必要です。



※映像の入出力端子は、BNC形状となっています。

市販のピンプラグケーブルとの接続には、BNCP→RCA変換コネクタをご利用下さい。

モニター画面表示について



①DVRの状態

●DVRの状態

ライブモード 一時停止 メニューモード 巻戻しモード 早送りモード 再生モード イベントリストモード

●ユーザーの状態

ゲスト(ID:0) ユーザー(ID:1) 管理者(ID:2)

●録画の状態

上書き録画する 上書き録画しない 録画しない

●言語の状態

日本語 中国語1 中国語2 EN 英語 ES スペイン語 FR フランス語 IT イタリア語 NL オランダ語
 PL ポーランド語 CS チェコ語 RU ロシア語 DE ドイツ語 HE ヘブライ語

●USBの接続状態

接続中 未接続

●HDDの接続状態

正常認識 未認識

●ネットワークの接続状態

ネットワーク接続中 ネットワーク未接続

②HDDの使用状態

500GB 0%

HDDの総容量/現使用量を%で表示 ※1日以上録画経過後に正確な数値が表示されます。

③カメラの状態

●カメラチャンネル

1チャンネル 2チャンネル 3チャンネル 4チャンネル

●録画状態と反応 ※録画中は録画ランプが点滅します。

録画中 アラーム作動 アラーム録画中 モーション検知 モーション録画中

●録画フレームレート

2フレーム 3フレーム 5フレーム 7.5フレーム 10フレーム 15フレーム 録画しない

●録画画質

最低 低 中 高 最高

④DVR操作

●カメラ映像切替

1 2 3 4

●4分割切替

●メインメニュー表示

●再生/一時停止/早送り/巻戻し

再生/一時停止 早送り 巻戻し

●イベントリスト表示

●ESC

●OSDメニュー表示/非表示

メニューについて

各カメラの設定を行います。
P12～

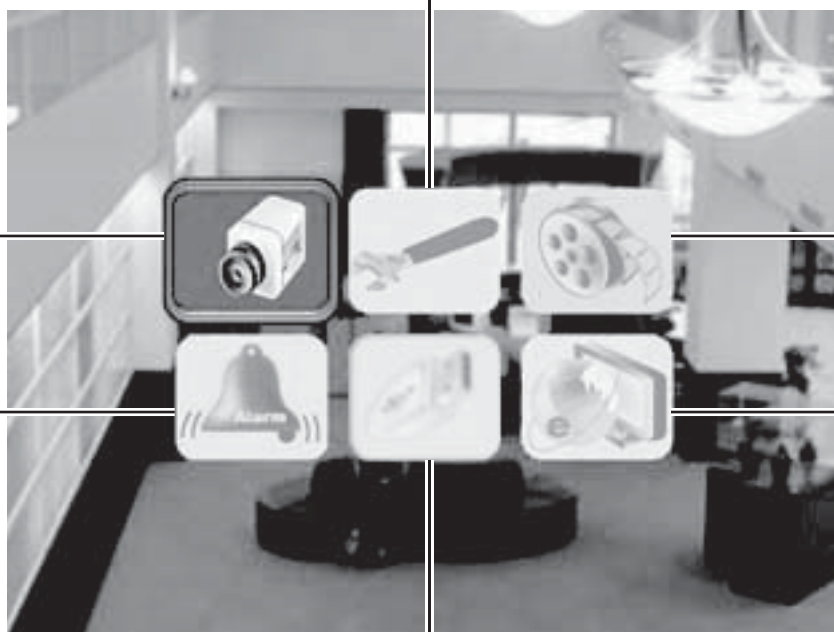
カメラ1	
硬度	
コントラスト	
色合い	
濃度	

システム設定を行います。
P13～

設定	
工場出荷時設定に戻す	
言語/LANGUAGE	日本語
NTSC/PAL選択	NTSC
日付/時間設定	
DVR/パスワード	
情報	

録画の設定を行います。
P14～

記録	
イベント録画フレーム数	15 10 15 15
A時間帯録画フレーム数	10 10 10 10
B時間帯録画フレーム数	10 10 10 10
画質	★ ★ ★ ★
音声	× ○
記録解像度	640×480
記録モード	○
スケジュール	
フォーマットHDD	



アラーム	
ビデオロス時アラーム	15 10 15 15
モーション検知有効	10 10 10 10
ブザー	○
アラーム 入力&出力	
モーション	

アラームの設定を行います。
P15～

バックアップ	
開始時間	2009/03/30 13:26:41
終了時間	2009/03/30 13:28:31
チャンネル	2
設定保存	
フォーマット	

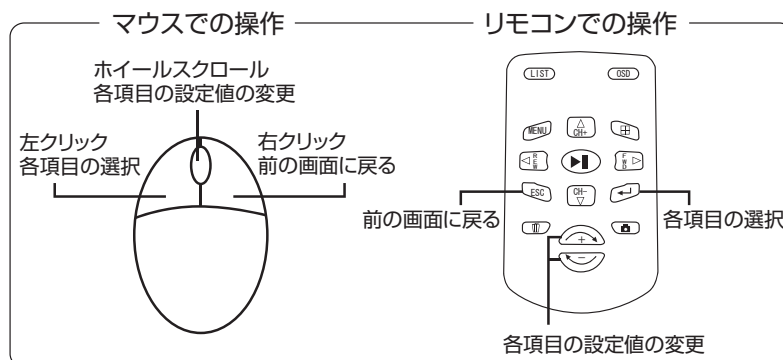
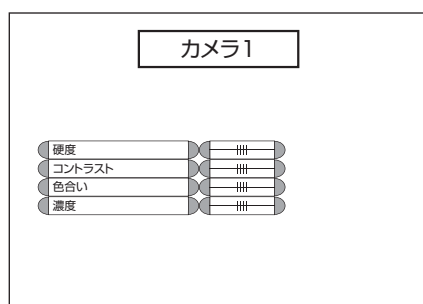
バックアップを行います。
P16～

LAN	
IP	192 168 000 089
MASK	255 255 255 000
GATEWAY	192 100 000 001
DHCP有効	○
HTTPポート	80
QT HTTPポート	8080
LAN/パスワード	
スケジュール	
フォーマットHDD	

遠隔監視の設定を行います。
P17～

カメラ設定

この項目では各カメラの輝度・コントラスト・色合い・濃度を設定します。



【輝度】：右へ移動すると明るく左へ移動すると暗くなります。

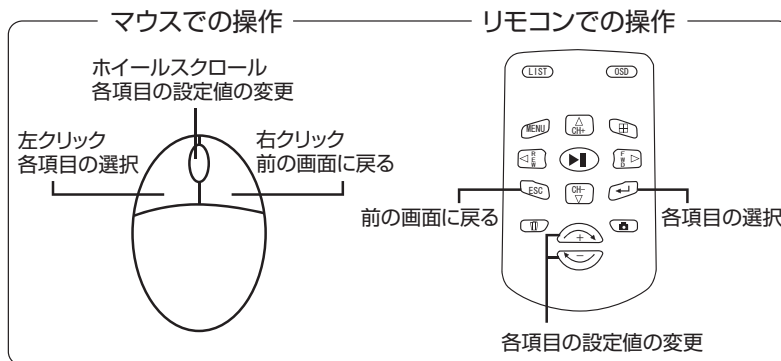
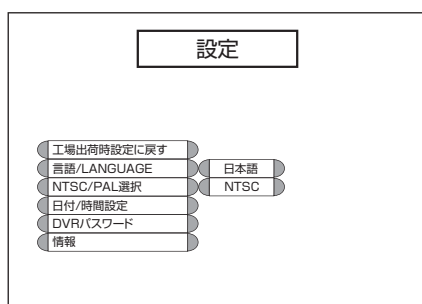
【コントラスト】：右へ移動すると明るく左へ移動すると暗くなります。

【色合い】：左右に移動すると色合いが変化します。

【濃度】：右へ移動すると淡く、左へ移動すると濃くなります。

システム設定

この項目では初期化、言語設定、映像信号設定、日時、パスワードなどを設定します。



【工場出荷時設定に戻す】

はい：設定値を工場出荷時に戻します。
いいえ：そのままの設定値を保ちます。

【言語/LANGUAGE】：表示言語を変更・設定します。

【NTSC/PAL選択】：映像信号方式の設定をします。

※日本国内では必ず「オート」または「NTSC」を選択してください。

【日付/時間設定】：システムの日付・時間の設定をします。

※必ず設定後は「更新して終了」を選択してください。

【DVRパスワード】：本体のメインメニュー、再生、イベントリスト画面表示時にID/パスワードを表示したい場合に設定します。

※設定の変更をする場合、管理者レベルのIDとパスワードが必要になります。

工場出荷時のパスワードは

管理者(ID:2 PW:2222)

使用者(ID:1 PW:1111)となっています。



上段にID,下段にパスワードを入力します。

権限管理：この項目を「○」に設定し本体を再起動するとID/パスワード確認画面が表示されます。

使用者レベル：使用者のパスワードを変更します。

パスワード変更の際は、上段に既存パスワード、下段に新パスワードを入力します。

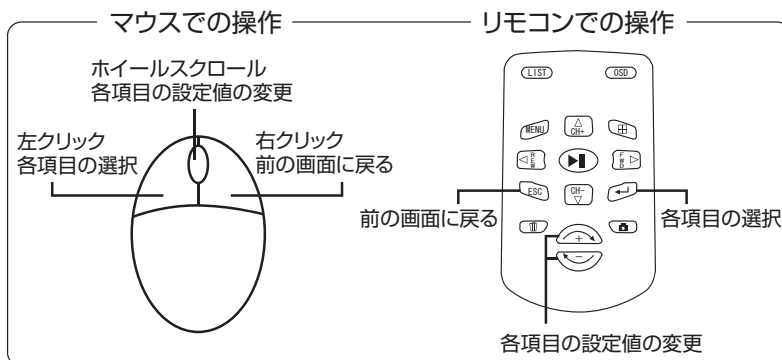
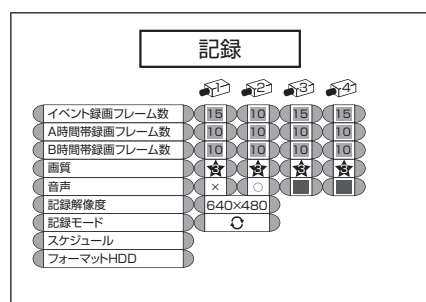
管理者レベル：管理者のパスワードを変更します。

パスワード変更の際は、上段に既存パスワード、下段に新パスワードを入力します。

【情報】：現在のDVRの各種情報が確認できます。

記録の設定

この項目では録画に関する解像度や録画モード、フレーム数、音声設定などを設定します。



【 イベント録画フレーム数 】：イベント発生時(アラーム、モーション反応時)の録画フレーム数を各カメラ毎に15fps、10fps、7.5fps、5fps、3fps、2fps、×(録画しない)の中から設定します。

※プリアラーム機能により5～10秒前から録画を開始します。

【 A時間帯録画フレーム数 】：スケジュールカレンダーにおけるA時間帯の録画フレーム数を各カメラごとに15fps、10fps、7.5fps、5fps、3fps、2fps、0(録画しない)の中から設定します。

【 B時間帯録画フレーム数 】：スケジュールカレンダーにおけるB時間帯の録画フレーム数を各カメラごとに15fps、10fps、7.5fps、5fps、3fps、2fps、0(録画しない)の中から設定します。

※A時間帯、B時間帯のみ録画したい場合はイベント録画フレーム数を「×」に設定してください。

【 画質 】：各カメラ毎に画質を1、2、3、4、5段階から設定します。5になるほど高画質になります。

※イベント録画フレーム数、A時間帯録画フレーム数、B時間帯録画フレーム数の設定値とHDDの残り容量により画質の値が自動的に変更される場合があります。

【 音声 】：カメラチャンネル1、2の音声機能が使用できます。カメラチャンネル3、4はご利用できません。

※集音マイク、オーディオを機器と本体を接続して頂く必要があります。

【○】ライブ、録音機能有効/【×】無効

【 記録解像度 】：640×480、640×240にて設定します。

【 記録モード 】：本体の記録モードを設定します。

☒ HDD容量が一杯になると古い日時の映像から上書き録画します。

☐ HDD容量が一杯になると録画を停止します。録画を再開するには記録モードを上書き録画に変更するか、HDDを初期化してください。

☐ 録画しない

ハードディスクが一杯になると「HDDはいっぱい!」メッセージが表示されます。

予備のハードディスクを交換しながら使用する場合は「上書き録画しない」をお奨めします。

録画フレーム数を設定すると下段の日時分におおよその録画時間が表示されます。

【 スケジュール 】：録画スケジュールをA時間帯(黄色)、B時間帯(緑色)で設定します。設定したい時間帯をクリックし、A時間帯、B時間帯を変更します。

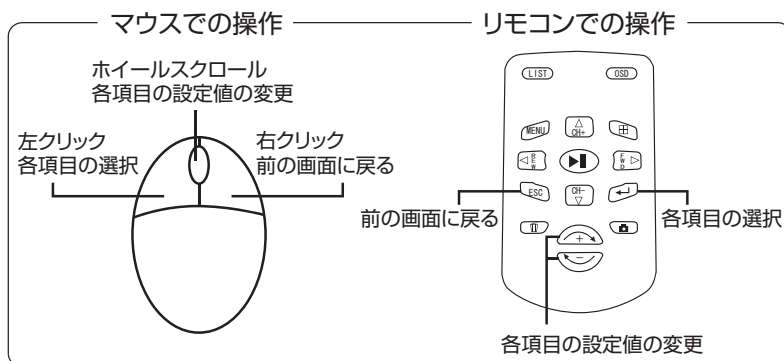
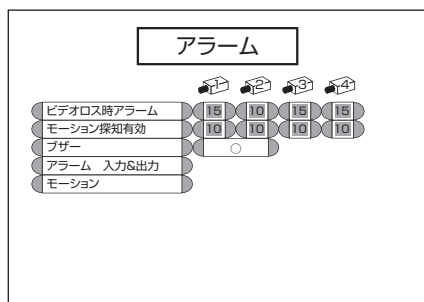
【 フォーマットHDD 】：

はい : そのままハードディスクを初期化します。

いいえ : そのままの状態を保ちます。

アラームの設定

この項目では各カメラのモーション設定やアラームなどを設定します。



【ビデオロス時アラーム】：カメラ映像信号が途切れた場合、ブザーがなります。
各カメラ毎にアラームをする場合は【○】、しない場合は【×】を選択します。

※下記「ブザー」の設定を「×」にしているとビデオロス時にブザーは鳴りません。
※本体の何れかのボタンを押すか、映像を復旧しないとブザーは止まりません。

【モーション検知有効】：モーション検知の設定をします。
モーション検知する場合は「○」、しない場合は「×」を選択します。
モーション検知の範囲は「モーション」にて設定します。

【ブザー】：ビデオロス、モーション検知、アラーム入力時にブザーを鳴らしたい場合は【○】、
鳴らしたくない場合は【×】を選択します。

【アラーム 入力&出力】

《入力タイプ》

OFF：

NC：ノーマルクローズにします。

NO：ノーマルオープンにします。

《入力設定》

アラーム入力に対するカメラの設定を行います。

《アラーム出力設定》

モーション、ビデオロス、アラーム時のアラーム出力の設定を行います。

《ビデオロス反応時間》

ビデオロス時にブザーが鳴る秒数(3～180秒)を設定します。「無限」はブザーが継続してなります。
「0秒」に設定するとブザーはなりません。

《イベント反応時間》

モーション検知またはセンサー入力時の録画、全画面表示の時間を1～255秒の間で設定します。
また「イベント録画フレーム数」が「×」の場合は録画しません。

【モーション】：カメラ毎のモーション検知する範囲、感度を設定します。

モーションの検知範囲を設定する場合

モーション検知範囲は白で表示されます。

マスをクリック又はリモコンの選択ボタンで検知範囲が解除されます。

マス目は青で表示されます。

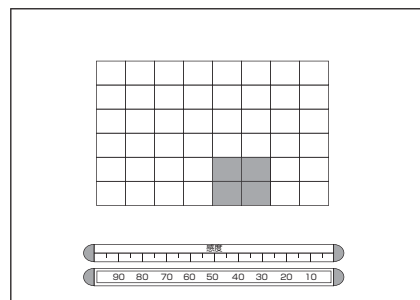
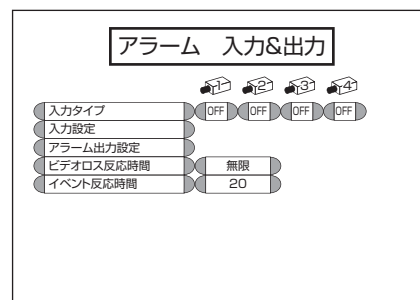
モーション感度を設定する場合

マウス…マウスホイールスクロールで行ってください。

リモコン…設定値の変更ボタンで行ってください。

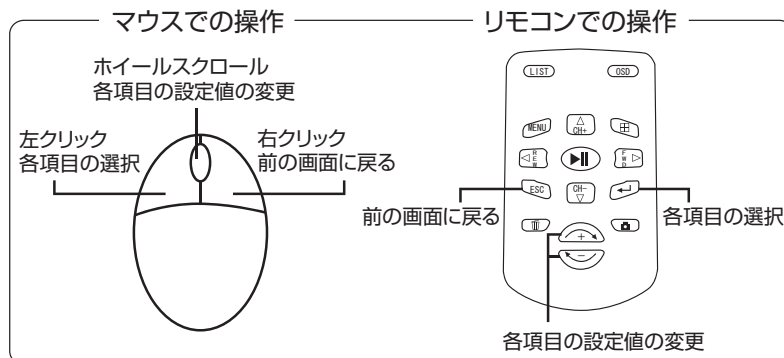
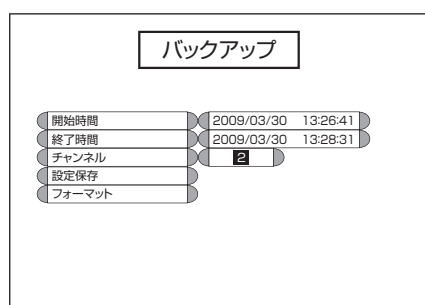
左になるほどモーション感度は高くなります。

右クリック/ESCでカメラの選択画面に戻ります。



USBバックアップの設定

この項目ではUSBでのバックアップを行う為の設定をします。



【開始時間】：USBに保存したい録画映像の開始時間を年、月、日、時、分、秒で選択します。

【終了時間】：USBに保存したい録画映像の終了時間を年、月、日、時、分、秒で選択します。

【チャンネル】：USBに保存したい録画映像のカメラチャンネルを選択します。

※時間範囲を選択すると画面下の日付時間バーに表示されます。

【設定保存】：クリックするとUSBにデータを保存します。保存完了後、再度バックアップ画面が表示されます。

【フォーマット】

はい：USBメモリーをフォーマット(初期化)します。

いいえ：フォーマット(初期化)しません。

USBメモリーに保存されたデータ名は「チャンネル_年月日時分秒.mov」になります。
例)CH1の2008年1月31日12時8分13秒→CH1_20080131120813.mov

USBメモリーにバックアップが成功するとイベントリストを確認することができます。

USBメモリーのバックアップの再生

バックアップファイルを再生するにはQuick Time Playerが必要です。

Apple社のホームページよりQuick Time Playerをダウンロードし、インストールしてください。

本機の遠隔監視時にもQuick Time Playerが必要となります。

USBメモリー内のファイルをダブルクリックしても動画を再生できない場合があります。

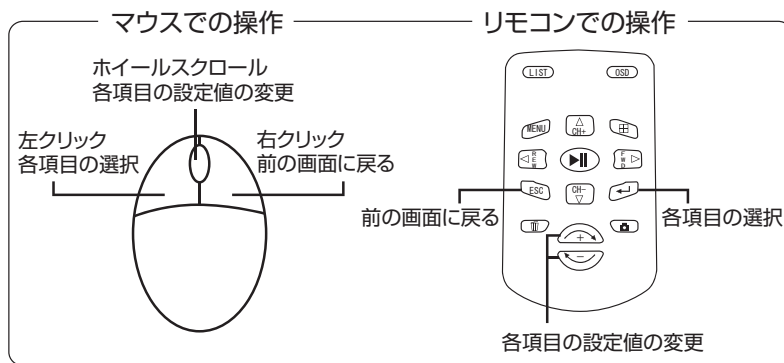
ファイルをパソコンにコピーしてから再生をおこなってください。

極端に短い時間のバックアップは再生できない可能性がありますのでご注意ください。

ネットワークの設定

この項目ではPCでの遠隔監視を行う為の設定をします。

LAN			
IP	192	168	000 089
MASK	255	255	255 000
GATEWAY	192	100	000 001
DHCP有効	<input type="radio"/>		
HTTPポート	80		
QT HTTPポート	8080		
LANパスワード			
スケジュール			
フォーマットHDD			



【 IP 】: 本体のIPアドレスを設定します。

【 MASK 】: 本体のサブネットマスクを設定します。

【 GateWay 】: 本体のデフォルトゲートウェイを設定します。

【 DHCP有効 】: DHCPの有効/無効

【 HTTPポート 】: HTTPポートの設定をします。

【 QT HTTPポート 】: QT HTTPポートの設定をします。

【 LANパスワード 】: 本体のネットワークアクセス時のパスワードを設定します。

ゲストレベル (ID:7 工場出荷時パスワード:1111)
遠隔からライブ映像監視のみできます。

使用者レベル (ID:8 工場出荷時パスワード:2222)
遠隔からライブ映像監視、再生ができます。

管理者レベル (ID:9 工場出荷時パスワード:3333)
遠隔からライブ映像監視、PPPoE・DDNS設定が可能です。

パスワードの変更は上段に既存パスワード、下段に新パスワードを入力します。

録画方法

録画設定方法は以下の種類がございます。

・通常録画(P14)

記録設定のスケジュールに従って、A時間帯・B時間帯の録画フレーム数により録画します。

・モーション録画(P14、P15)

モーション録画のみで録画する場合はA時間帯・B時間帯の録画フレーム数を「0」に設定してください。
またイベントフレーム数を「0」にするとモーション録画しなくなりますのでご注意ください。

・アラーム録画(P14、P15)

別途センサー機器が必要となります。

アラーム録画のみで録画する場合はA時間帯・B時間帯の録画フレーム数を「0」に設定してください。
またイベントフレーム数を「0」にするとアラーム録画しなくなりますのでご注意ください。

※モーション・アラーム録画はプリアラーム機能により検知反応の5～10秒前から録画開始します。

例:月～土の21:00～6:00まで常時録画し、その他の時間は来客ごとに15秒録画する。

①イベント録画フレーム数 「15」に設定。

A時間帯録画フレーム数 「15」に設定。

B時間帯録画フレーム数 「0」に設定。

②スケジュール設定で月～土の21:00～6:00までをA時間帯に変更。(黄色にする)

残りの時間をB時間帯に変更。(緑にする)

③モーション設定でモーション検知範囲を設定。

イベント反応時間を「15」に設定。

再生方法

再生設定方法は以下の種類がございます。

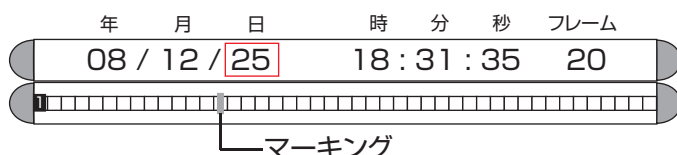
・サーチ再生

画面上の **▶||** またはリモコンの **▶||** を押すと時間検索画面が表示されます。

マウスの左クリックまたはリモコンの **◀^R_F^E_W^D▶** を押すと検索バー上段の赤枠が移動します。

マウスのスクロールホイールまたはリモコンの **⤿** **⤿** 年月日/時分秒/フレームを変更します。

設定後、画面上の **▶||** またはリモコンの **▶||** を押すと映像が再生されます。



検索バーの上に表示されるマーキングの種類

緑:モーション 青:ビデオロス 赤:アラーム オレンジ:マーキング

薄いグレー:HDD録画スタート 濃いグレー:電源ON

黄色:USBメモリー

検索バーの上でマウスの左クリック、またはリモコンの **←** を押すと「画面をマークした」と表示され検索バーの上にオレンジのマークが表示されます。

マーキングに赤枠のカーソルを合わせ再生ボタンを押すと各イベントの映像が再生されます。

・イベント再生

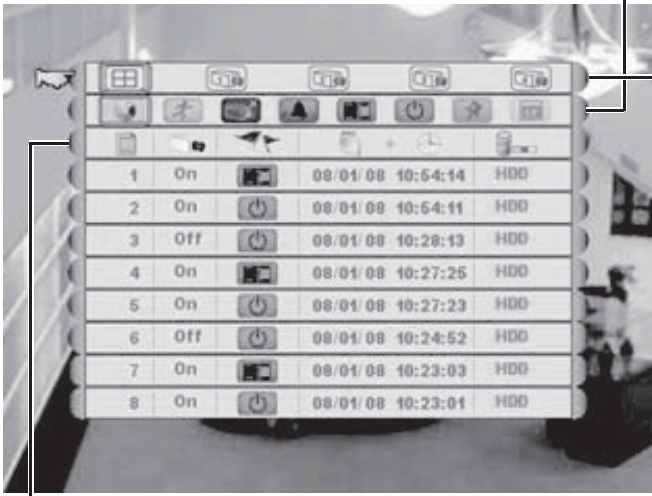
画面上の **LIST** またはリモコンの **LIST** を押すとイベント内容が表示されます。

マウスの左クリックまたはリモコンの **◀^R_F^E_W^D▶** を押すと画面上の赤枠が移動します。

イベントリストを選び、マウスの左クリックまたはリモコンの **←** を押すとその映像が再生されます。

※マウスの右クリックまたはリモコンの **ESC** を押すと通常の監視画面に戻ります。

イベントリストを削除する場合は **🗑** を押すとデータが削除されます。



各アイコンの説明

カメラアイコン

- 全てのカメラのイベント
- カメラ1のイベント
- カメラ2のイベント
- カメラ3のイベント
- カメラ4のイベント

イベントアイコン

- 全てのイベント
- モーション検地のイベント
- ビデオロスのイベント
- アラームのイベント
- ハードディスクのイベント
- 電源のイベント
- マーキングのイベント
- USBメモリーのイベント

イベント項目

イベント項目
 カメラ番号およびオン/オフ
 イベントアイコン

+ 日付・時間
 記録媒体

遠隔監視その1

本機のネットワーク機能を利用し、遠隔地からライブ監視、録画映像を再生することができます。

・遠隔操作に必要な設定・条件・機器

インターネット回線(固定IPアドレス)
ネットワークの設定(ポートの開放)
遠隔監視用PC

・遠隔パソコン推奨環境

CPU:Pentium4 2.0Hz以上
メモリー:256MB以上
VGA:64MB以上
OS:Windows2000/2000Pro/XP/XP Pro
QuickTimePlayer7.0以上

※ノートPCでは閲覧できない場合がございます。

・遠隔監視の準備

DVR本体のネットワーク設定をおこなってください。(P17)

遠隔監視する為にパソコンにQuickTimePlayer7.0以上をインストールする必要があります。
Apple社のホームページよりQuickTimePlayerをダウンロードしてインストールしてください。

QuickTimePlayerを起動しメニューの「編集」→「設定」→「QuickTime設定」へ進みます。
詳細タブをクリックして「トランスポート設定」のプルダウンメニューから「カスタム」を選択してください。
「トランスポートプロトコル」画面が表示されますのでトランスポートプロトコル「HTTP」、ポートID「80」を選択し、OKボタンを押してください。
次にブラウザをクリックし、「ムービーを自動的に再生」にチェックを入れてください。
適用し設定終了となります。QuickTimePlayerを終了してください。

ブラウザを起動し、メニューの「ツール」→「インターネットオプション」へと進み、「全般」タブのインターネット一時ファイル欄の設定をクリックします。
クッキー設定の「ページを表示するごとに確認する」にチェックを入れOKを押してください。

アドレスバーにDVR本体のネットワーク設定で設定した「IPアドレス」を入力してください。

アクセスするとログイン画面がでてきます。
IDおよびパスワードを入力してログインしてください。

初期設定時の「ID」「パスワード」

ゲストレベル ID:7 PW:1111

使用者レベル ID:8 PW:2222

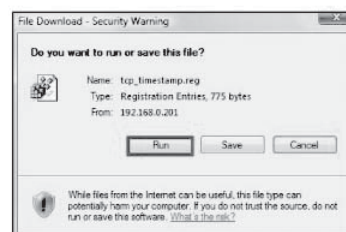
管理者レベル ID:9 PW:3333

アクセスは1プロバイダに対して1アクセスしか受けつけていません。

ログインすると下図が表示されます。



左図の赤枠のSETUPボタンをクリックします。
右図の赤枠のDownloadをクリックしファイルをダウンロードし、ダウンロードしたファイルをクリックします。
OKボタンをおして設定完了です。



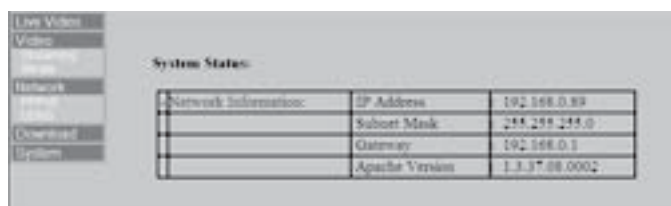
以上の設定で遠隔操作の準備は完了となります。

遠隔監視その2

遠隔監視画面



①設定画面



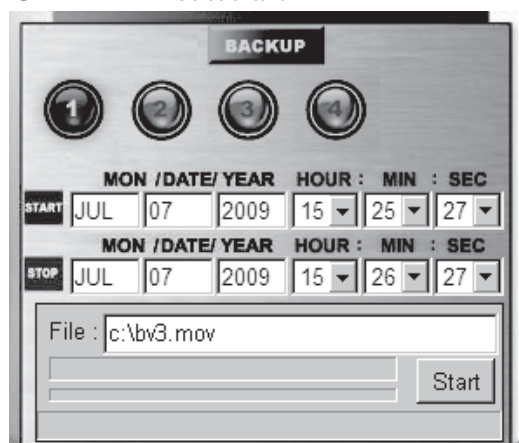
LiveVideo:監視画面にもどります。
 Network:管理者レベルのみ設定可能
 Streaming:ストリーミングの設定
 Bitrate:ネットワークのビットレートの速さを設定します。
 PPPoE:PPPoE接続する場合、「接続ID」「接続パスワード」を入力し設定します。
 DDNS:DDNS機能を使用する場合に設定します。
 Download:QuickTimeのレジストリファイルをダウンロードできます。
 System:DVRのネットワーク情報が表示されます。

③再生操作画面



PLAYBACKを押すと再生操作パネルがアクティブになります。
 年月日を指定するとカレンダーがPOPUPされますので、カレンダーを使用して年月日を指定します。
 時分秒をプルダウンで指定します。
 巻戻し/一時停止/再生/早送りボタンで操作します。

④バックアップ操作画面



BACKUPを押すとバックアップ再生操作パネルがアクティブになります。
 年月日を指定するとカレンダーがPOPUPされますので、カレンダーを使用して年月日を指定します。
 時分秒をプルダウンで指定します。
 Fileをクリックすると保存場所の指定ができます。
 Startをおすとバックアップがはじまります。

録画時間目安表

OS-R365【カメラ4台仕様】 録画時間目安表

録画解像度:640×480

単位:時間

■HDD容量《500GB》	録画コマ数設定(frame/秒)						
録画画質設定	30	15	10	7.5	5	3	2
最高画質	-	90	135	180	270	450	676
高画質	-	135	202	270	405	676	1356
標準画質	-	202	304	405	608	1014	2028
低画質	-	304	456	608	912	1521	2281
最低画質	-	456	684	912	1369	2281	3422

録画解像度:640×240

単位:時間

■HDD容量《500GB》	録画コマ数設定(frame/秒)						
録画画質設定	30	15	10	7.5	5	3	2
最高画質	90	180	270	360	540	900	1352
高画質	135	270	404	540	810	1352	2028
標準画質	202	404	608	810	1216	2028	3042
低画質	304	608	912	1216	1824	3042	4562
最低画質	456	912	1368	1824	2738	4562	6844

《録画可能時間の目安》

- ※録画目安時間はカメラ1台あるいは複数台設置した場合でも同じとなります。
- ※カメラを複数台設置した場合の録画速度は、設置するカメラ毎の録画コマ数を足した総数となります。
- ※録画時間が記載してある画質、コマ数でも、HDDの残り容量により設定できない場合がございます。
- ※録画フレーム数/秒と画質によって変化します。
- ※録画する内容の複雑さによって、録画時間は変動致しますのでご注意ください。

上記はあくまで参考時間です。
使用するカメラや撮影する映像によって録画時間も変化します。予めご了承下さい。

故障かな?と思われたとき

症状	症状	処置のしかた
電源が入らない	ACアダプターがはずれている	ACアダプターの接続を正しく接続する
	DVR電源コネクタの接触不良	後面パネルの電源コネクタを抜き差しして下さい
モニターに映像が出ない	接続が間違っている	もう一度接続図を見て正しく接続する
	周辺機器やモニターの電源が入っていない。	電源を入れる
	モニターの再生チャンネルが間違っている	外部入力などのチャンネル確認をする
録画が出来ない	ハードディスクが一杯になっている。	現状の録画データーが不要な場合は、上書録画を有効に設定し、継続ご使用ください。必要なデーターはバックアップしてください。
	ハードディスクを認識しない(NO HDD)	お買い上げの販売店にご連絡ください
スケジュール録画が出来ない	日付・時刻が間違っている	日付・時刻を正しく設定する
USBメモリーにバックアップ(外部出力)出来ない	手順とおりバックアップしたが、保存が正常に行われない	違うメーカーのUSBメモリーへ交換して再度バックアップ操作をしてください
時間指定再生ができない	手順とおり時間指定したが、録画画像が出てこない	録画データーが上書きされて無いか、元々録画データーが無い。(時間が間違っている)

■定期・点検保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げの販売店(または工事店)にご相談ください。

■電源が遮断した場合

録画周期や時刻が変化することがあります。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰すると再び録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなった場合は、次の手順で確認してください。

1. 電源コンセントを外す。
2. 40秒から60秒電源を落とした状態にする。
3. 電源コンセントを差込み、システムが起動後、動作確認をする。

■ハードディスクの取扱いについて

本製品が画像データーを録画・保存するために使用している記録メディアは、3.5インチ ハードディスクとなります。ハードディスクは消耗品となり、寿命は通常約20,000時間ですので、高電圧・高電流・落下・衝撃・停電・水分・湿度等の外的要因の他にも使用による劣化のため、製品寿命が訪れます。その際、ハードディスク内に記録されているデーターは、復旧ができませんので、必ず必要なデーターは、都度、ビデオテープ等にバックアップ保存してください。ハードディスクに記録されたデーター損害が生じたとしても、弊社では一切保証いたしません。

アフターサービスと保証

本機が正常に動作しないときは「使用上の注意」、「故障かな?と思われるとき」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 本製品には保証書を添付しています。(取扱説明書内)
保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめください。
また、内容をよくお読み頂き、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店へご相談下さい。
修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望に応じて有料修理致します。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- 保証期間内に、万一故障や不具合が発生した場合には、
保証書の記載内容に基づき、お買い上げ日から1年間無料修理致します。

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

1. お名前
2. ご住所(付近の目標など)
3. 電話番号
4. 製品名
5. 製品型番(本機背面のラベルに記載)
6. 故障の症状・状況など(できるだけ詳しく)
7. ご購入年月日または、使用年数

■保証書■

商品名: S/N:
保証期間: お買い上げ日より1年間 お買い上げ日 年 月 日

■お客様■	■販売店■
ご住所	
お名前	
お電話	

【故障・修理内容】

- (1) 正常な使用状態で故障し製品保証期間内である場合のみ、お買い上げ店、販売元が無料修理致します。
(2) 保証期間内に無料修理を受けるには、商品と本書を御持参(又は送付)の上、お買い上げ店へご依頼下さい。
(3) 保証期間内でも、次の場合は有料にさせていただきます。
1. 保証書・商品添付の製品番号が無い場合
 2. 保証書に、お名前、お買い上げ店及び日付が記載されていない場合
 3. 特殊な環境下での故障。消耗品に対する補償。
 4. お買い上げ後の取扱いの誤りや他製品(外部要因)による故障、製品の自己修理、改造が加えられた場合
 5. お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 6. 火災、地震、風水害、落雷等の天災や公害、虫害、ガス害、異常電圧・指定外の使用電源による故障
 7. 各部の点検・保守費用。また、営業上の損失や記録内容等のソフト内容の補償は致しかねます。
- ※本製品の故障による二次的損害についてはその責務を負わないものとします。



この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、販売店へお問い合わせください。